

環境経営レポート

(対象期間：2023年4月～2024年3月)

発行日：2024年 5月 31日



目 次

	ページNO.
I 組織の概要	2、3
II 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日	4
III 環境経営方針（基本理念・行動指針）	5
IV 環境管理組織実施体制	6
V 環境経営目標及び環境経営目標の実績	7～9
VI 環境経営計画の取組内容と取組結果・評価及び 次年度の取組内容	10～11
VII 環境関連法規等の遵守状況の確認並びに違反、 訴訟等の有無	12
VIII 代表者による全体の評価と見直しの結果	13

I 組織の概要

1. 事業所名 ミネ工業株式会社

2. 代 表 者 代表取締役 浅井 英明

3. 設 立 昭和 40 年 11 月 1 日 株式会社阿野組工作所設立

昭和 58 年 5 月 23 日 ミネ工業株式会社に社名変更

4. 資 本 金 3.000万円

5. 所 在 地 本社：神奈川県横浜市港南区日野中央2-32-37

6. 環境管理責任者、事務局担当者氏名及び連絡先

環境管理責任者：横田 新一

事務局担当者：栗原 由理

連絡先：ミネ工業株式会社

電話 045-353-7714 FAX 045-353-7719

Eメール info@mine-kk.com

7. 事業活動内容

1) 建物解体工事業・・・RC・S造解体、木造戸建住宅解体、内部造作物撤去、斫り工事、石綿撤去工事、杭引抜撤去工事、製造施設撤去工事

2) 産業廃棄物収集運搬業

8. 許可業種

1) 解体工事業 神奈川県知事（特一3）第054816号

2) 産業廃棄物収集運搬許可一覧表

許可地域	許可番号	有効期限 (許可年月日)	許可品目
東京都	13-00-014624	R11.2.28 (R6.3. 1)	廃プラスチック類、紙くず、木くず、 繊維くず、ゴムくず、金属くず、 ガラス・コンクリート・陶磁器くず、 がれき類（石綿含有廃棄物を含む） （水銀使用製品産業廃棄物を含む） 以上8種類 注）積替保管施設は無し
神奈川県	14-02-014624	R.6.10.31 (R1.11. 1)	廃プラスチック類、紙くず、木くず、 繊維くず、ゴムくず、金属くず、 ガラス・コンクリート・陶磁器くず、 がれき類（石綿含有廃棄物を含む） （水銀使用製品産業廃棄物を含む） 以上8種類 注）積替保管施設は無し

9. 事業の規模

活動規模	単位	2021年度	2022年度	2023年度
売上高(税抜き)	百万円	576	899	619
従業員	人	20	19	19
事務所床面積	m ²	177.95	177.95	177.95
工事等の件数	件	126	108	127

10. 産業廃棄物運搬車両の種類と台数

4tアムロール…2台 4tダンプ…1台 3tダンプ…2台 2tダンプ…2台

11. 受託した産業廃棄物の収集運搬量

産廃物 種類	廃プラ	木くず	ガラス	金属くず	がれき類	石綿含有 廃棄物 (石膏ボード)	建設混合 廃棄物	合計(t)
2021年度	13.9	631.7	13.1	0.0	2,303.5	214.5	1,056.0	4,232.7
2022年度	37.7	486.9	25.2	0.0	1,301.5	226.8	514.0	2,592.1
2023年度	39.8	773.8	27.7	0.0	2,166.3	279.1	554.7	3,841.4

※一般廃棄物は含まず

Ⅱ 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

1. 対象範囲（認証・登録）・・・本社における全活動
2. レポートの対象期間・・・2023年4月から2024年3月

Ⅲ 環境経営方針（基本理念・行動指針）

基 本 理 念

当社は安全・安心を第一とした、解体工事業及び産業廃棄物収集運搬業を通じて、安全で環境に優しい社会の実現に貢献します。
また、資源再生・省エネを積極的に励行し、継続的な環境保全に取り組んでまいります。

行 動 指 針

事業活動が環境に与える影響を把握し、全従業員が以下の活動を継続的に推進いたします。

1. 全事業活動における節電・節水の励行、環境負荷低減につながる燃料・車両・重機への移行を推進します。
2. 車両の保守点検作業及びアイドリングストップの励行と安全運行に努めます。
3. 重機の点検整備及びアイドリングストップの励行と騒音振動の抑制及び解体作業の安全に努めます。
4. 解体工事において無線機やウェアラブルカメラ等を積極的に導入し、ICT化により安全な解体作業を推進します。
5. 解体工事において分別解体を徹底し、産業廃棄物の再資源化に努めます。
6. 社内で使用するオフィス用品のグリーン購入を推進し、コピー用紙の再使用再資源化を継続的な省資源活動に努めます。
7. 事業活動で適用される環境関連法規及び当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
8. 全社員に環境教育を実施し、環境経営方針を周知させ一人ひとりが意識の向上に努めます。
9. 当社は「SDGメディア・コンパクト」が謳う『1.5℃の約束』に賛同し、世界の気温上昇を抑制するべく努力してまいります。
10. 環境経営の継続的改善を推進します。

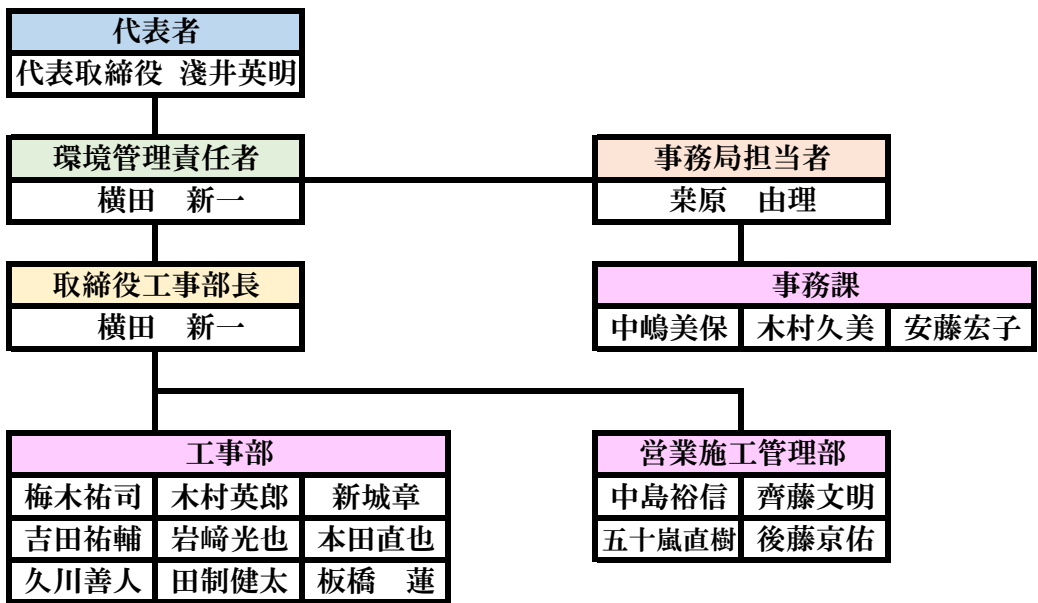
2022年5月31日 制定

ミネ工業株式会社

代表取締役 浅井 英明

IV 環境管理組織実施体制

1. 実施体制図



2. 火災時対応



3. 役割・責任・権限

役職	役割・責任・権限
代表者 (代表取締役)	・実施体制を構築し、責任及び権限を定める ・経営における課題とチャンスを整理し明確にする ・環境経営方針を定める ・環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画及び実施体制を見直す ・環境管理責任者の任命
環境管理責任者	・代表者に代わってシステムを構築運行する ・代表者に報告する
部長及び課長	・必要な教育訓練を計画し実行する ・省資源省エネ節水を励行、推奨する
従業員	・環境方針を理解し、部門の環境活動計画に従って活動する
事務局	・環境管理責任者に代わって情報収集し実施状況を報告する ・各部署へEA21の達成目標を周知する

V 環境経営目標及び環境経営目標の実績

1. 環境経営目標

目標項目	単位	基準年度	短期目標	中期目標	
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
		実績	目標	目標	目標
①CO2排出量					
電気使用量	kWh	15,408	15,200	15,048	14,898
ガソリン使用量	L	10,487	10,300	10,197	10,095
軽油使用量(車両)	L	18,561	18,300	18,117	17,936
軽油使用量(重機)	L	50,296	49,700	40,000	39,950
G T L 使用量(重機)	L	19,712	19,500	17,210	17,121
都市ガス使用量	m3	64	63.0	47.5	47
CO2 合計	kg-CO2	258,713	255,432	223,790	222,665
② 水					
水道使用量	m3	107	106	105	104
③事業系一般廃棄物（事務所）					
可燃物	kg	150.9	145.0	143.6	142.1
不燃物	kg	50.1	48.0	47.5	47.0
④作業現場の取り組み					
工事における騒音・振動の環境配慮	%	100	100	100	100
解体廃棄物の再資源化率向上	%	86.9	88.00	88.88	89.77
⑤車両の事前点検作業の励行					
事前点検	%	100	100	100	100
運行管理表	%	100	100	100	100
⑥使用重機の整備点検					
始業前点検	%	100	100	100	100
年次点検	%	100	100	100	100
⑦グリーン購入の推進					
再生コピー用紙の購入	%	100	100	100	100
低燃費車両・低燃費重機への入替え	件	0	1	1	1
⑧環境教育					
毎月実施の定例会議において＜環境経営＞に関する社員教育を実施	%	100	100	100	100

※電気使用量の二酸化炭素実排出係数：0.475kg-CO2/kwh

※ガソリンの二酸化炭素実排出係数：2.32kg-CO2/L

※軽油使用量の二酸化炭素実排出係数：2.62kg-CO2/L

※G T L 使用量の二酸化炭素実排出係数：2.36kg-CO2/L

※都市ガス使用量の二酸化炭素実排出係数：2.16kg-CO2/L

※化学物質については使用していません。

※2020年度途中から一部重機でG T L（軽油対比でCO2排出量を8.5%削減）の使用を開始。

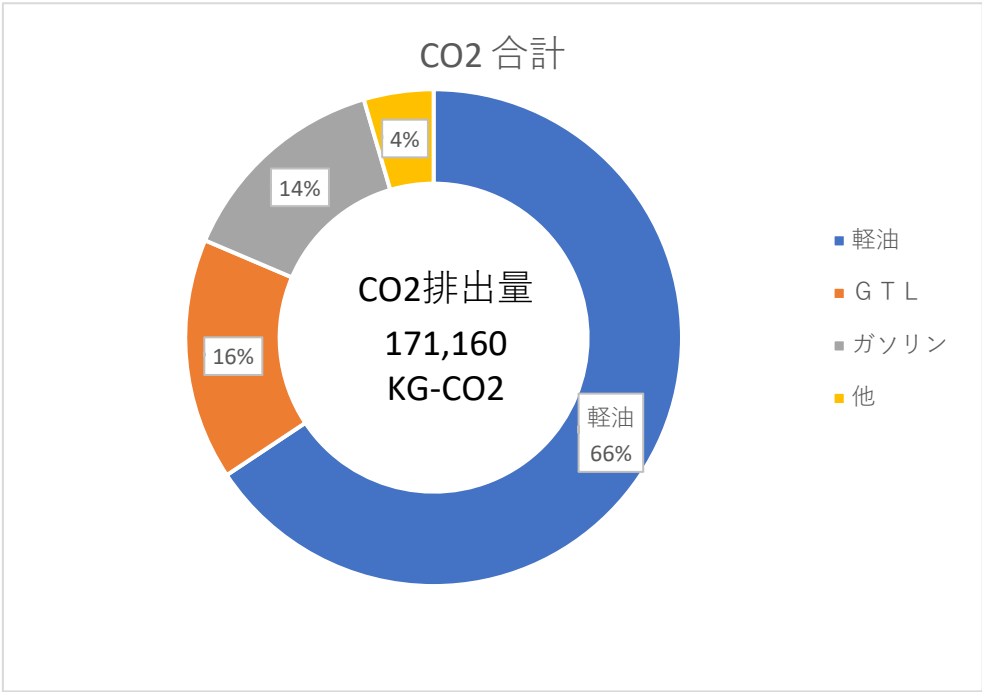
※廃棄物再資源化率については全ての工事（元請+下請）を対象にしています。

2. 環境経営目標の実績

○＝達成 ×＝達成せず

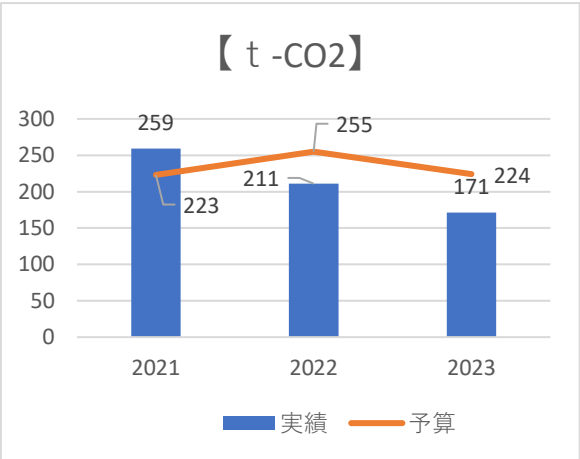
目標項目	単位	2023年度			評価
		目標	実績	結果	
①CO2					
電気使用量	kWh	15,048	16,140	×	事務所内人員増加により電気使用量が増加、今後も節電に気をつける。
	kg-CO2	7,148	7,667	×	
ガソリン使用量	L	10,197	10,371	×	施工現場エリア拡大により、走行距離が例年に比べ増加した。引き続きアイドリングストップ等省エネの意識で運行する。
	kg-CO2	23,657	24,061	×	
軽油使用量	L	58,117	42,900	○	車両（産業廃棄物収集運搬車）重機とも軽油使用量は目標達成となった。これは小型重機を使用する木造の物件数が減少したためと考えられる。またその物件の産業廃棄物を運搬する車両の使用も減少したため車両の軽油使用量も減少し目標達成した。
	kg-CO2	152,267	112,397	○	
・軽油使用量(車両)	L	18,117	15,994	○	
	kg-CO2	47,467	41,904	○	
・軽油使用量(重機)	L	40,000	26,906	○	
	kg-CO2	104,800	70,493	○	
G T L使用量(重機)	L	17,210	11,413	○	目標達成できた。引き続きGLT移行していきたい。
	kg-CO2	40,616	26,934	○	
都市ガス使用量	m3	47.5	47.0	○	事務所内人員増加に伴いガスの利用も増加傾向にある、今後は設定温度に気を付けながら、節約に気を付ける。
	kg-CO2	103	102	○	
CO2 合計	kg-CO2	223,790	171,160	○	概ね目標値に到達している。今後も継続して励行する
②水					
水道使用量	m3	105	114	×	従業員増加により使用量増加。蛇口付近に注意喚起表示し更なる節水の意識を向上する。
③事務系一般廃棄物（事務所）					
可燃物	kg	143.6	188.9	×	事務所内人員増加により廃棄物が増加した
不燃物	kg	47.5	37.1	○	目標達成。今後も継続して励行する。
④作業現場の取り組み					
騒音振動の環境配慮	%	100	100	○	目標達成。今後も継続して励行する。
廃棄物再資源化向上	%	88.88	91.00	○	目標達成。今後も継続して励行する。
⑤車両の事前点検作業の励行					
事前点検	%	100	100	○	目標達成。今後も継続して励行する。
運行管理表		100	100	○	目標達成。今後も継続して励行する。
⑥使用重機の整備点検					
始業前点検	%	100	100	○	目標達成。今後も継続して励行する。
年次点検		100	100	○	目標達成。今後も継続して励行する。
⑦グリーン購入の推進					
再生コピー用紙の購入	%	100	100	○	目標達成。今後も継続して励行する。
低燃費車両・低燃費重機への入替え	件	1	1	○	目標達成。今後も継続して励行する。
⑧環境教育					
毎月実施の定例会議において＜環境経営＞に関する社員教育を実施	%	100	100	○	目標達成。今後も継続して励行する。

3. 2023年度CO2排出量(実績)の割合

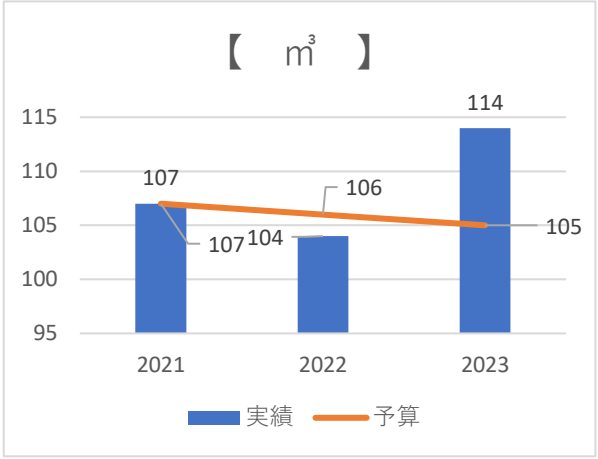


4. 主な環境負荷の実績推移表

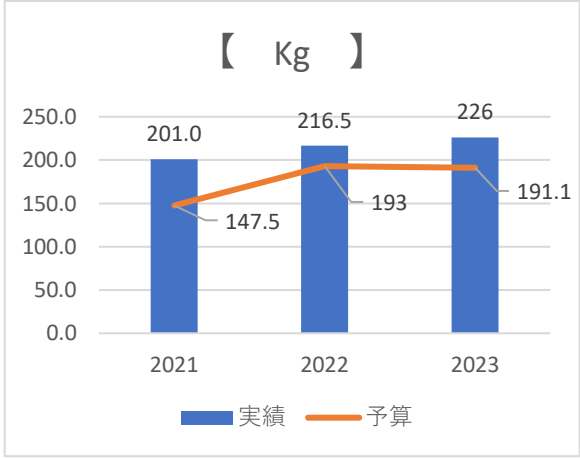
①CO2排出量



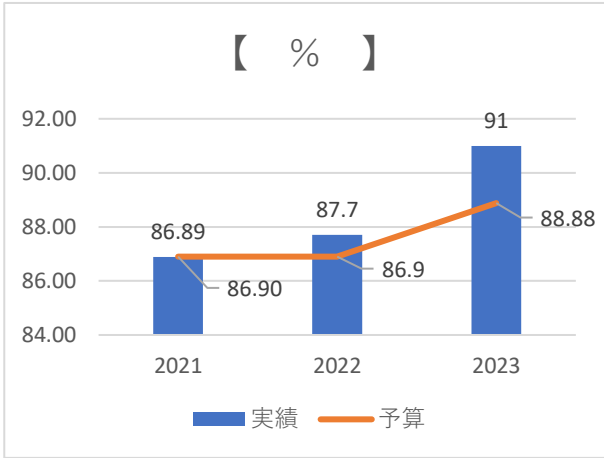
②水使用量



③事務系一般廃棄物排出量



④産廃再資源化率



Ⅵ 環境経営計画の取組内容と取組結果・評価及び次年度の取組内容

1. 2023年度環境経営計画の内容

環境経営目標項目	具体的な取組内容	担当責任者	スケジュール
①-1電気使用量の削減	昼休みの消灯こまめに消灯	社長	常時
	事務作業の効率向上		
	冷暖房の適正温度の遵守		
①-2ガソリン使用量の削減	燃費向上運転の励行	新城	常時
	法定速度の順守		
	アイドリングストップ		
	低燃費車への移行		順次
①-3軽油使用量の削減	燃費向上運転の励行	木村	常時
	作業中こまめにエンジンを切る		順次
	重機燃料を軽油からGTLへ移行		
	低燃費重機への移行		
①-4ガス使用量の削減	省エネの意識を高める	栗原	毎回
②水道使用量の削減	節水の意識を高める	栗原	毎回
③事務系一般廃棄物の削減（可燃物） （不燃物）	古紙分別再利用	栗原	常時
	プリント前ミスチェック		
	両面使用の強化		
	両面使用済みのものはシュレッダーにかけて無料の収集業者に出す		
	分別再資源化		
④作業現場の取組	解体廃棄物の分別の推進	横田	常時
	工事の際は騒音振動についての環境配慮		
	建設廃材の再資源化を推進		
⑤車両の事前点検作業の励行	事前点検	新城	毎回
	運行管理表		月1回(月末に提出)
⑥重機の使用前整備点検	始業前点検	木村	毎回
	年次点検		年1回
⑦グリーン購入の推進	再生コピー用紙の購入	栗原	毎回
	低燃費車・低燃費重機への入替	横田	順次
⑧環境教育	毎月実施の定例会議において<環境経営>に関する社員教育を実施	社長	毎回

2. 2023年度環境経営計画の取組結果・評価及び次年度の取組内容

○＝達成 ×＝達成せず

環境経営目標項目	具体的な取組内容	取組結果・評価	次年度の取組内容
①-1電気使用量の削減	昼休みの消灯こまめに消灯	○十分に取組めた	今後も継続
	事務作業の効率向上	×残業が減らなかった	より計画的に作業する
	冷暖房の適正温度の遵守	×コロナ過の影響もあり夏季、冬季の事務所エアコンの設定温度や使用時間が例年に比べ過度となった	冷暖房適正温度の再設定及び適正温度の厳守。エアコン操作パネルに節電の注意喚起表示をする
①-2ガソリン使用量の削減	燃費向上運転の励行	○十分に取組めた	今後も継続
	法定速度の順守	○十分に取組めた	〃
	アイドリングストップ	○十分に取組めた	〃
	低燃費車への移行	○十分に取組めた	順次実施
①-3軽油使用量の削減	燃費向上運転の励行	○十分に取組めた	今後も継続
	作業中こまめにエンジンを切る	○十分に取組めた	〃
	重機燃料を軽油からGTLへ移行	×一部移行開始した	順次実施
	低燃費重機への移行	×買い替え時に実施	順次実施
①-4ガス使用量の削減	省エネの意識を高める	—	ガスコンロ付近に省エネの注意喚起表示をし、更なる省エネの意識を向上する
②水道使用量の削減	節水の意識を高める	○十分に取組めた	今後も継続
③事業系一般廃棄物の削減（可燃物） （不燃物）	古紙分別再利用	○十分に取組めた	今後も継続
	プリント前チェック	○十分に取組めた	〃
	両面使用の強化	○十分に取組めた	〃
	両面使用済みのものはシュレッダーにかけて無料の収集業者に出す	○十分に取組めた	〃
	分別再資源化	○十分に取組めた	〃
④作業現場の取組	解体廃棄物の分別の推進	○十分に取組めた	今後も継続
	工事の際は騒音振動についての環境配慮	○十分に取組めた	〃
	建設廃材の再資源化を推進	○十分に取組めた	〃
⑤車両の事前点検作業の励行	事前点検	○十分に取組めた	今後も継続
	運行管理表(月初に提出)	○十分に取組めた	今後も継続
⑥重機の使用前整備点検	始業前点検	○十分に取組めた	今後も継続
	年次点検(年初に提出)	○十分に取組めた	今後も継続
⑦グリーン購入の推進	再生コピー用紙の購入	○十分に取組めた	今後も継続
	低燃費車・低燃費重機への入替	○今年度の入替え実施	順次実施
⑧環境教育	毎月実施の定例会議において＜環境経営＞に関する社員教育を実施	○十分に取組めた	今後も継続

Ⅶ 環境関連法規等の遵守状況の確認並びに違反、訴訟等の有無

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反・訴訟はありませんでした。

法律・条例・規則の名称	該当する要求事項	当社の対応 (許可・届出・記録・報告等)	遵守状況	違反・訴訟 等の有無
廃棄物処理法（廃棄物の 処理及び清掃に関する法 律）	・収集運搬業の許可 ・マニフェスト交付：保管期間5年間 ・マニフェスト交付状況報告（知事・6月末） ・産業廃棄物の処理委託契約 ・産廃運搬車表示、書類携帯 ・不法投棄の禁止	・産業廃棄物収集運搬 収集運搬許可証 取得 （東京都） 13-00-014624 （神奈川県内全域） 14-02-014624 ・マニフェストの交付、保管 ・マニフェスト交付状況 報告書の提出 ・産業廃棄物の処理委託 契約書の保管 ・産廃運搬車表示、 書類携帯 ・不法投棄禁止の遵守	○	無
騒音規制法	・特定施設 ・空気圧縮機（7.5kW以上） ・送風機（7.5kW以上） ・特定建設作業実施の届出 ・規制基準 8時～18時 65デシベル以下 18時～23時 60デシベル以下	・対象施設ではないが、 解体作業時は地域住民 に配慮し作業	○	無
振動規制法	・特定施設 ・圧縮機（7.5kW以上） ・特定建設作業実施の届出 ・規制基準 8時～19時 65デシベル以下 19時～8時 60デシベル以下	・対象施設ではないが、 解体作業時は地域住民 に配慮し作業	○	無
自動車から排出される窒 素酸化物及び粒子状物質 の特定地域における総量 の削減等に関する特別措 置法（自動車NO _x ・PM 法）	・排出基準 H17年規制適合車	・適合ディーゼル車両への ステッカーの貼付	○	無
建設工事に係る資材の再 資源化等に関する法律 （建設リサイクル法）	・分別解体の対象工事 解体：床面積80m³以上 新築、増築：床面積500m³以上 ・再資源化等の実施義務 ・解体工事業の登録	・分別解体計画書の作成 ・分別解体届出書の作成	○	無
特定家庭用機器再商品化 法（家電リサイクル法）	・対象家電 エアコン、テレビ、冷蔵庫、洗濯機、 衣類乾燥機 ・再商品化等に関する料金の支払い ・製造業者等への適切な引渡し	・解体作業時の適切な運搬	○	無
道路交通法	・規制基準の遵守 ・積載物の重量確認	・収集運搬時、積載物の 重量確認	○	無
大気汚染防止法	・特定粉じん（アスベスト）排出作業の届出	・特定粉じん排出作業の 届出	○	無
消防法	・火災の予防	・解体作業時の火災の予防 ・現場に消火器の設置	○	無
道路運送車両法	・規制基準の遵守	・社有車の始業前点検実施	○	無
石綿障害予防規則	・事前調査 ・作業計画策定 ・石綿作業主任者の配置 ・飛散防止措置の実施	・事前調査 ・作業計画策定 ・石綿作業主任者の配置 ・飛散防止措置の実施	○	無
神奈川県生活環境の保全 に関する条例 横浜市生活環境保全条例	・上記各法規に準ずる	・解体作業、産業廃棄物 収集運搬時の規制基準 の遵守	○	無
建設業法 第3条	・解体工事業の許可	・解体工事業許可証 取得 神奈川県知事許可 特-30) 054816号	○	無
廃棄物処理及び清掃に関 する法律 第12条第11項	・多量排出事業者の届出 ・前年度の産業廃棄物の発生量が1,000 t 以上である事業者は毎年6月30日までに 産業廃棄物処理計画書を提出	・横浜市には届出済み、他地 域は前年度の発生量が1,000t 未満のため届出無し	○	無

代表者による全体の評価と見直しの結果

1. 基本理念遵守に向け、行動指針を見直し高品質な環境経営目標及び環境経営計画を立てる。
2. CO2排出量について、前年実績に比べ、全体で目標数値を18%下回り達成できました。
3. 電気使用量増加については、主に夏季の猛暑や新型コロナ感染防止対策等により、例年よりエアコンの温度設定や使用時間が過度となり目標達成できませんでしたが、今後は、こまめな節電運動（エアコンのスイッチ付近に節電の注意喚起表示）をし、更に事務作業の効率化を図り残業時間を削減する等の業務改善を推進して節電意識をより高めていきます。
4. ガソリン、軽油の使用量については、ハイブリット車・低燃費車の稼働、さらにエコ運転を推奨することで、軽油については目標達成ができました。又要因として、軽油車両の稼働減も考えられるので、今後稼働が増加したときにも、目標達成できるように、車両入替エコ運転を心掛けさせていきます。
5. GTL使用量については、工事内容によりGTL燃料を使用する大型重機利用が減ったため目標達成できたが、環境への負担の少ないGTL燃料が減り、軽油が増えたが工事量が減ったため、CO2排出削減は達成できた。
5. 一般廃棄物については、プリント用紙の両面使用や裏紙使用の再資源化に十分取り組めたが、事務所内人員増加により廃棄物も増加した。今後ITデジタル化を進め、紙を無くす設備投資を進めます。
6. 水道使用量については、人員増の影響で目標値をクリアすることができなかったので、一人一人さらに節水の意識をもちたい。
7. 車両運行表については、引き続き定例会議での回収率100%を目指し管理できた。
重機の始業前点検は、点検結果を始業前点検表に100%記録する。
車両の事前点検は、個々に一任していたが、運行管理表に追加する事前点検項目に100%記録する。
8. 環境教育については、Y-SDGsの認定を受け社員と共に環境活動に取り組めた。
又環境財団への支援通じて、緑を守り育てる意識向上を図りました。
9. 変化する環境問題に柔軟に対応し、エコ活動に社員一丸で取り組んでいく。

2024年5月31日

代表取締役 浅井 英明